

安全報告書（2008年）

【谷川岳ロープウェイ】



【天神峠ペアリフト】 観光リフト



スキーリフト



 **谷川岳ロープウェイ株式会社**

目次

- 1 安全基本方針と重点目標
 - (1) 基本方針
 - (2) 重点目標

- 2 事故等の発生状況とその再発防止措置
 - (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）
 - (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）
 - (3) インシデント（事故の兆候）

- 3 輸送の安全確保のための取組み
 - (1) 人材教育
 - (2) 応急下降訓練
 - (3) 安全確保のための諸施策

- 4 当社の安全管理体制

- 5 利用者の皆様へ

- 6 お問い合わせ先

ごあいさつ

日頃は谷川岳ロープウェイをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社におきましては、谷川岳ロープウェイを始め、天神平スキー場リフトおよび榛名山ロープウェイの各索道事業を行っています。

日本百名山のひとつである谷川岳とそれに連なる山々の大パノラマを楽しむことができる谷川岳ロープウェイや、11月下旬から5月上旬までのロングシーズンとパウダースノーが自慢の天神平スキー場、さらには、群馬近郊にありながら関東平野を一望できる榛名山の頂上に立つことができる榛名山ロープウェイ等水上地区および榛名地区の観光、スキー、登山などに訪れるお客様の交通手段として、索道（ロープウェイ、リフト）の安全な運転をご提供しております。

当社は、企業理念の第一に安全の確保を掲げ、運転の取扱いや維持管理などにおけるコンプライアンス（法令遵守）を徹底し、お客様に対して安全・安心を確保することに努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成20年度の輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自らの取組みに不足する部分がないか振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものであります。

皆さまからの声を輸送の安全に役立てるため、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

谷川岳ロープウェイ株式会社
取締役社長 伊藤 正明

1 安全基本方針と重点目標

(1) 安全基本方針

当社の企業理念の第一は、安全を最優先とし、地域社会から信頼される企業を目指しております。社長、役員および職員（職員に準ずるものを含む）は、次の安全基本方針に則り、輸送の安全確保を図っております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故または災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 重点目標

お客様に安心して快適にご利用していただくために、次のとおり重点目標を定めています。

- ①安全、安心の徹底を図る
- ②お客様に満足してもらう
- ③従業員相互に協力し情報の共有化を図る

2 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成20年度における索道運転事故はありませんでした。引き続き運転事故防止に努めます。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）

平成20年度における災害における運転停止はありませんでした。

なお、強風や襲雷による安全確保のため、下記のとおり運行の一時見合わせを行っています。

| | | | | |
|-----------------|---|-----|----|-------|
| 谷川岳ロープウェイ | 計 | 14日 | 延べ | 76時間 |
| 天神峠、天神平、高倉山各リフト | 計 | 68日 | 延べ | 300時間 |
| 榛名山ロープウェイ | 計 | 14日 | 延べ | 60時間 |

(3) インシデント（事故の兆候）

平成20年度における国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。引き続き事故防止に努めます。

3 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のため、安全に関する社内の教育や、関東鋼索交通協会主催等社外の研修にも積極的に参加し、索道技術の向上や知識の習得に努めています。

平成20年度に実施または受講した主な教育等は次のとおりです。

(社内教育)

異常気象時の警戒について 2/1 21名受講

(社外教育)

日本ケーブルテクニカルセミナー 5/21～23 2名受講

索道技術員等講習会 6/12～13 1名受講

索道技術管理者研修会 9/18～19 3名受講

雪上車両運転者講習会 11/10 4名受講

雪崩用煙火従事者保安教育講習会 10/24 4名受講

運輸事業の安全に関するシンポジウム 12/1 4名参加

(2) 応急下降訓練

毎年、定期点検で営業を終始する期間を利用して、職員一同にて応急下降訓練（緊急時の救助）を実施しています。

平成20年度に実施した応急下降訓練は次のとおりです。

谷川岳ロープウェイ 応急下降訓練 6/18 13名参加



谷川岳天神峠リフト 応急下降訓練 6/19 11名参加





(3) 安全確保のための諸施策

当社では、安全の維持・向上のため、計画的に機器の整備や工事等を実施しております。

平成20年度に実施した主な整備・工事等は次のとおりです。

① 谷川岳ロープウェイ (6月実施)

制御装置点検および調整、1号柱索輪交換等

② 谷川岳リフト (6月実施)

天神峠ペアリフト原動滑車ゴムライナー交換

天神平ペアリフトA, B線終端滑車ベアリングおよびゴムライナー交換

天神平ペアリフトB線握索機交換

高倉山第2ペアリフト原動滑車および終端滑車ゴムライナー交換

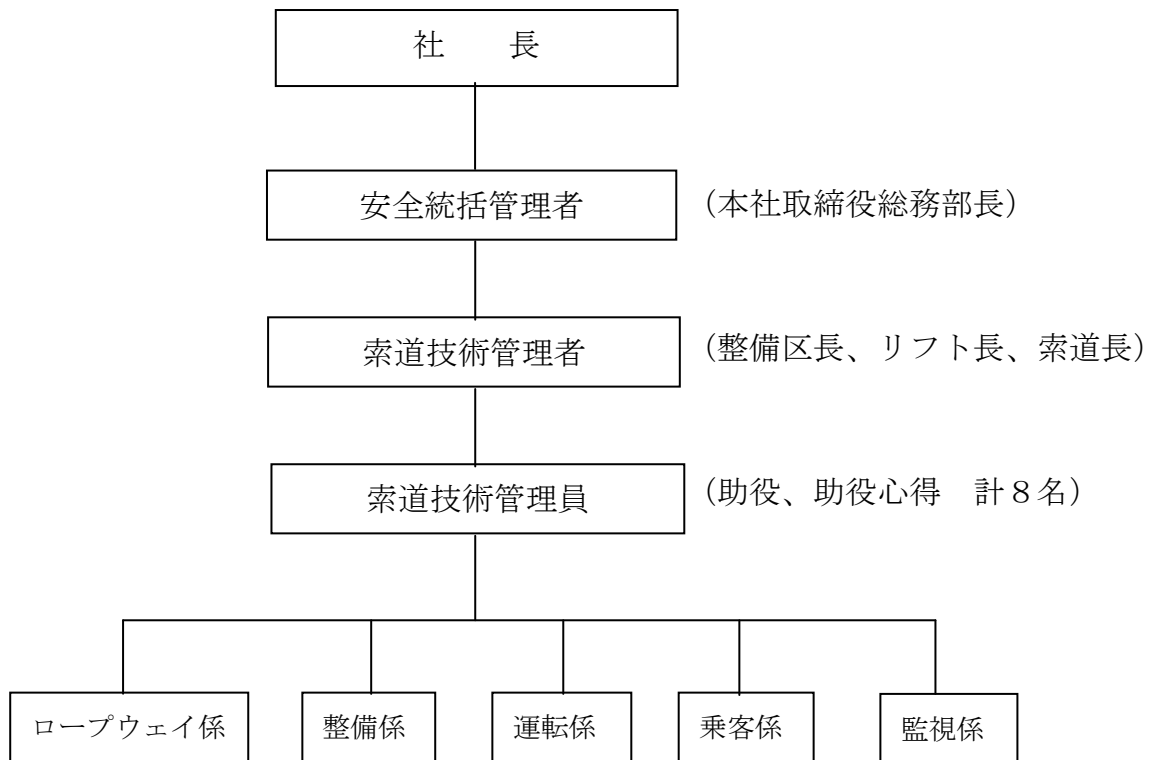
③ 榛名山ロープウェイ (3月実施)

緊張滑車シーブ交換ほか点検整備

客車窓ゴム交換ほかオイル交換

制動試験、ロープ測定

4 当社の安全管理体制



| | |
|---------|---|
| 社 長 | 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。 |
| 安全統括管理者 | 索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。 |
| 索道技術管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。 |
| 索道技術管理員 | 索道技術管理者の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する。 |

5 利用者の皆様へ

(1) お客様の声をかたちにしています

谷川岳ロープウエー（株）はお客様の立場に立ったサービスの提供に努めています。

皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見は、より信頼される索道を運営するために役立たせていただきます。

ここでは、平成21年度にお寄せいただいたご意見をもとに改善した例をご紹介します。

①通路が滑りやすいことに対する改善

| | |
|------|------------------------|
| 「要望」 | スキーシーズンで通路が濡れていると滑りやすい |
| 「対策」 | 以前からある滑り止めのマットを広くしました |

②搬器内での異常に対する改善

「要望」 異常時に搬器が長時間停止した時に尿意の不安がある

「対策」 すべての搬器に携帯トイレを設置しました

(2) ロープウェイおよびリフト乗車時の注意事項

- ①改札および乗車の際は係員の指示に従ってください。
- ②指定の乗車位置でお待ちください。
- ③搬器への飛び乗りや飛び降りは大変危険ですからおやめください。
- ④ペットは誘導網（リード）またはケージの中へお入れください。
(ただし、不潔または悪臭のため他のお客様のご迷惑となるものは禁止いたします)

6 お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全に対する取組み等へのご意見・ご要望その他お気づきの点がありましたら、下記にご連絡ください。

平成20年6月27日

〒379-1728

群馬県利根郡みなかみ町湯檜曾湯吹山国有林

谷川岳ロープウェイ株式会社

谷川岳事務所

TEL 0278-72-3575

FAX 0278-72-5834

E-mail:mail@tanigawadake-rw.com

榛名山ロープウェイ

TEL 027-374-9238

FAX 027-374-9278